

# 橘 夜景作成のポイント

※1 橘仕上は橘レンダリングを導入いただいている方が使える機能です。

※2 操作はO7CAD2.5以上の説明画面です。

橘レンダリングで綺麗な夜景作成をする際のポイントです。灯りの追加や調光してみましょう。

効果設定を「パース\_夜景」に変更した直後の画像

⇒全体的に暗い印象。メーカーの照明が自動点灯。

※昼パース作成後、CAD平面カメラの上で右クリックしカメラを複製します。

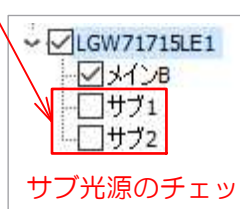
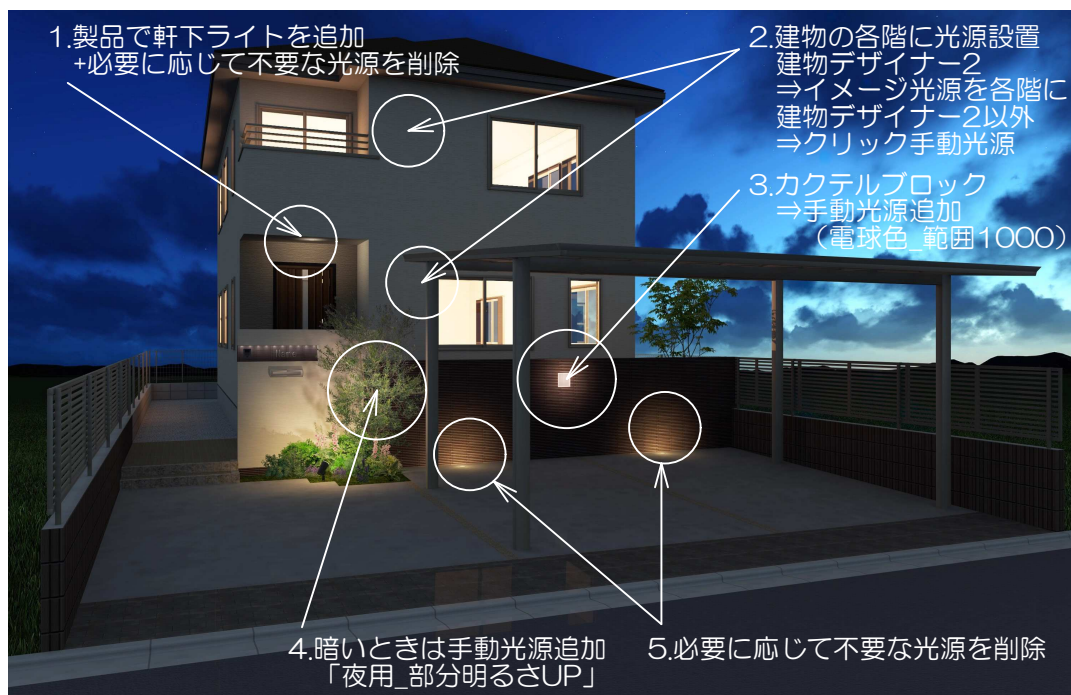
複製したカメラを夜用に設定すると、同じアングルの昼パースと夜パースを作成できます。



灯りの追加や調光した画像

⇒全体的に明るい印象。





## 1 軒下ライトの設置

1-1 建物を配置している場合、軒下ライトを配置すると灯りの配置がよりリアルな表現になります。

### 自動点灯の灯り

照明例：(eE-Painter仕上共通)

Panasonic 軒下灯

Panasonic 軒下用LEDダウンロードライトetc.  
配置後、高さを合わせます。

1-2 橋レンダリングでパース作成をする場合は、必要に応じて不要なeE-Painter用の光源がある場合は、点灯ないように設定します。

リアルタイムパース画面で光源のタグを表示し、軒下ライトのサブ光源のチェックを外します。

再描画をクリックし明るさを確認します。

※結果、真っ暗になる場合はチェック戻します。

作りにより元のままで良い場合もあります。

説明に使った照明パナソニックLGW71715LE1はチェックを外さない方が良かった。

1-3 電球色のライトの場合「光源編集」画面でカラーの数値を0.6程度に設定変更しましょう。

※サブ光源を非表示に設定した場合のみ、明るさを2.0程度に変更し光を強くします。

次のページ 2-2を参照。

## 2 建物内各階に光源を配置

2-1 建物がある場合、各階に光源を配置します。  
建物の作成方法により操作手順が異なります。

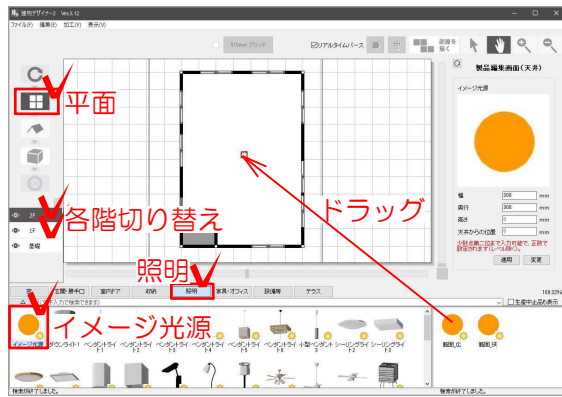
### 【建物デザイナー2で作成した建物の場合】

建物デザイナー2を起動し平面編集画面でイメージ光源を配置します。**自動点灯の灯り**

- ・間取り作成なし  
⇒各階中央にイメージ光源\_広
- ・間取り作成あり  
⇒パースに映る面の各部屋にイメージ光源\_狭



「建物の中に光源を追加する方法」で検索



### 【建物デザイナー2以外で作成した建物の場合】

リアルタイムパース画面撮影カメラアングルで操作します。**手動点灯の灯り**

建物1階正面中央で右クリックし「光源追加」⇒  
「夜用\_建物明かり」を選択します。

建物2階正面中央で右クリックし「光源追加」⇒  
「夜用\_建物明かり」を選択します。



2-2 光源の設定を変更します。

リアルタイムパース画面左上の「光源」のタグをクリックします。光源の一覧が表示されます。

### ユーザー光源（手動点灯の灯り）

右クリックして作成した光源。

昼はチェックを外して消灯、夜はチェックを付けて点灯するよう、手動設定が都度必要です。

### 製品光源（自動点灯の灯り）

メーカー製品の光源とイメージ光源。  
自動点灯します。

光源の名称の上で右クリックし「光源編集」

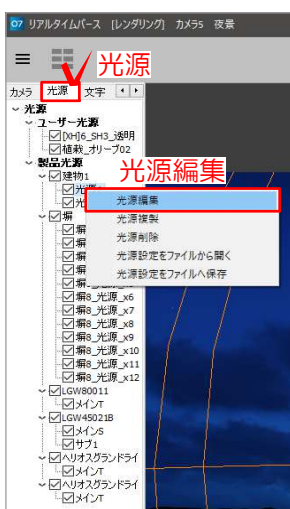
イメージ光源で追加した建物用光源  
⇒色強度を0.6

手動光源で追加したの建物用光源

⇒オフセット＝建物の奥行き（半分）

⇒明るさ＝4

⇒色（オレンジ）0.6





### 3 カクテルブロック

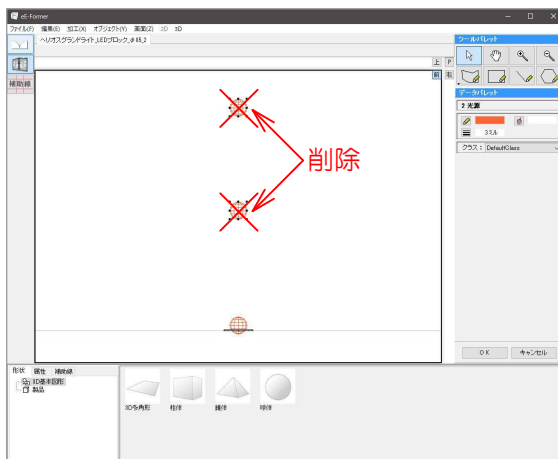
3-1 プランにカクテルブロックある場合、リアルタイムパース画面撮影カメラアングルで操作します。**手動点灯の灯り**  
カクテルブロック中央で右クリックし「光源追加」⇒「電球色\_範囲1000」を選択します。カクテルブロックのカラーなどを変更する場合「光源編集」画面で設定変更しましょう。



### 4 メーカー製品ライト

4-1 橋レンダリングでパース作成をする場合は、必要に応じて不要なeE-Painter用の光源がある場合は、点灯しないように設定します。**自動点灯の灯り**  
※図のように光源が上にポンポンと見える場合の対応方法です。

リアルタイムパース画面で光源のタグを表示し、ライトのサブ光源のチェックを外します。再描画をクリックし明るさを確認します。  
※結果、真っ暗になる場合はチェック戻します。作りにより元のままでも良い場合もあります。説明に使用した照明ユニゾン ヘリオスグランドライトはチェックを外した方が良かった。



照明の数が多く、チェックを外す操作が大変な場合は、他にCeE-Formerを使う方法があります。真っ暗にならないかを上記の方法で1つ試します。確認後問題なければ、照明選択後eE-Formerを起動し、**不要な光源を削除**します。CAD上で光源削除済の照明を複製し、プランの各位置へ配置します。



4-2 電球色のライトの場合「光源編集」画面でカラーの数値を0.6程度に設定変更しましょう。  
※サブ光源を非表示に設定した場合のみ、明るさを2.0程度に変更し光を強くします。  
前ページ 2-2を参照ください。

## 5 スポットライト（メーカー製品）



5-1 スポットライトの照らす先が暗い場合は、eE-Formerでヘッド向きを回転させます。

自動点灯の灯り



「スポットライトの向きの設定」で検索



5-2 更に暗い場合は、手動光源を追加します。

リアルタイムパース画面撮影カメラアングルで操作します。照射物の上で右クリックし「光源追加」⇒「②夜用\_部分明るさUP」を選択します。

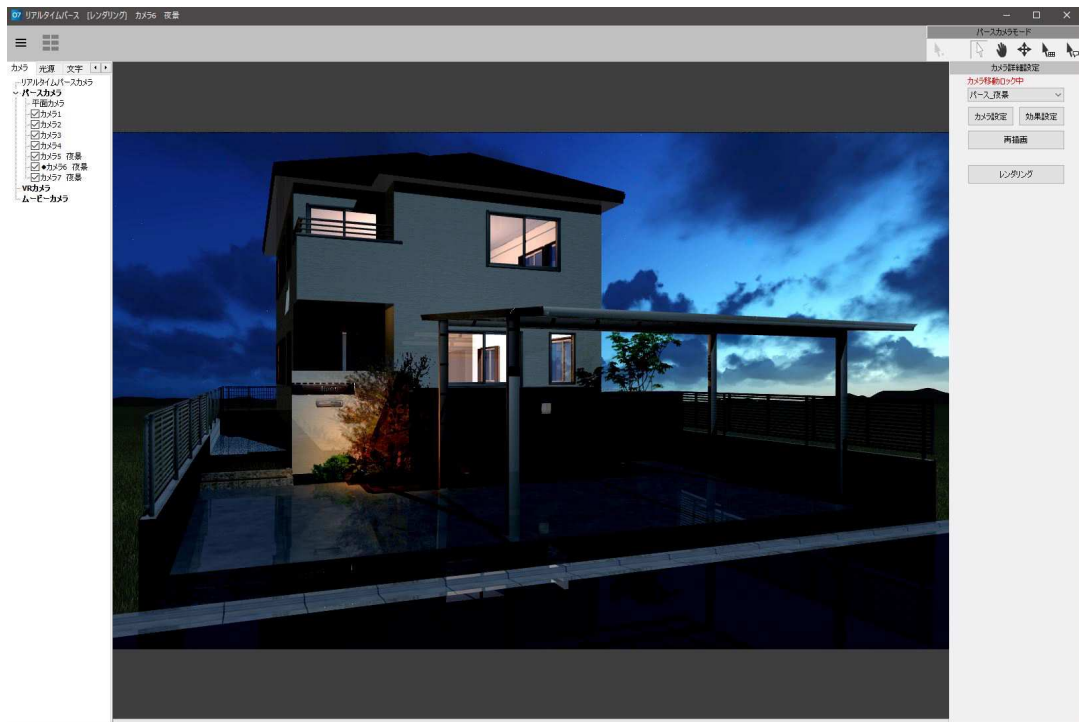
手動点灯の灯り

5-3 電球色のライトの場合「光源編集」画面でカラーの数値を0.6程度に設定変更しましょう。

前ページ 2-2を参照ください。

再描画面で確認いただくと光源のカラーが強く、明るさも低く感じますが、橋レンダリングは乱反射の計算がされるため、実際は確認画面より明るく作成されます。

### 再描画で確認したパース



### 橋レンダリングで作成したパース



正面と側面のコントラストがないので、太陽の向きを反対にさせていただくとよりよくなります。あまり変化がない場合、07CAD3.0以降ではレンダリング前に面のクラス分け設定をすると、タッチのバケツ機能で面（クラス）ごとにコントラストをつけられます。全体の明るさはSPパレットで調整ができます。